

よしだ 議会だより

第120号

令和8年1月発行

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
吉田町議会
責任者 議長 増田 剛士

| | |
|---------------|-----|
| 令和7年第4回定例会 | 2P |
| 令和7年第3回臨時会 | 4P |
| 一般質問 6人が町政を問う | 5P |
| 第23回議会報告会 | 11P |
| 委員会報告 | 14P |

令和7年第4回定例会（会期：12月1日～12月15日）

条例の一部改正、 条例の制定、補正予算

可決

【令和7年第4回吉田町議会定例会】

条例の一部改正9件、条例の制定2件、
補正予算2件の計13議案を審議した。
全ての議案について原案のとおり可決した。



町職員の給与に関する 条例の一部改正

問 今回の人事院勧告は

若年層や初任給に重きをおいた給与などの引き上げになっている。それに反対する気はないが、もっと子育て世代の生活の充実を図る改定をしてほしい。吉田町独自で手当ても含めて行う考えはないか。

答 人事院は国家公務員

について民間企業との官民給与格差の解消を目的に勧告を出している。吉田町はそれに従い本条例の改定を議案として提出している。子育て世代への恩恵をという意見については、何を参考にすればよいのかは非常に難しい問題で、吉田町独自というのは人事委員会を持たない吉田町では難しいと考える。

行政手続等における情報通信技術の利用に関する 条例の一部改正

問 条文中の「手続に係る関係者の利便性向上」について具体的に

はどのようなことか。また、条文中の「行政運営の簡素化及び効率化」は今後どのように進めるのか。

答 利便性向上については、

提出物を役場に届けなくて済むとか、支払いについても自宅から現金以外で支払いができるとかを進める予定である。また、簡素化効率化については、現金支払いについて正しく納付されているかのチェックにかかる人件費が効率化されるなどを考えている。しかし、本条例は包括的な条例で、個々の担当課が進めるデジタル化施策を迅速に進めるためのもので、いつから始めるかは今は言えない。

問 デジタル化の推進によ

って、役場窓口に行かなくて済むようになることは子育て世代などにとって利便性の向上が図られる。しかし、高齢者やいわゆるデジタル弱者は使いにくくなると予想される。このことをどのように考えているか。

答 デジタル化の推進によ

って、すべてがデジタル化されるということとは現時点ではない。現状の手続きは今後も継続していき、支払いや手続き手段の幅を広げていくという考えで進めていく。

水道事業の布設工事監督者などに関する条例 の一部改正

問 今回の条例改正では

10年以上の水道の工事に関する技術上の実務経験が5年以上になるなどの変更となっている。今回の条件緩和による町のメリットは。

答 布設工事監督者も水

道技術管理者も町職員に必要な資格であり、今回の条件緩和により有資格者となる人材をより多くより早く確保できるようになる。それによって、水道事業を安定的に持続していくことが可能となる。

問 今回の改正によって

町の有資格者はどう変わるのか。

答 町全体では、布設工

事監督者は5人が7人に、水道技術管理者は7人が12人に増える。

問 今回の条件緩和によ

って経験不足による工事の不都合が発生する可能性はないか。

答 工事の質は担保され

ると考える。吉田町のような小規模事業者の職員は全ての工事を見なければならず、水道全般にかかる経験を短い期間で習得できることが国の変更理由として挙げられている。

こども発達支援センター
設置条例の制定

問 今回、こども発達事業所を廃止し、こども発達支援センターを設置することであるが、その違いは。

答 こども発達支援所は主に通所による療育のサービスを提供している所で、こども発達支援センターはそれに相談業務を加え、障害児支援の町の中核的な役割を果たすことが大きな違いである。

問 障害児支援の中核的な役割とは具体的には何か。



こども発達支援事業所の一室

答 幼児期からの支援体制や就学後にかけての切れ目のない支援体制構築のために、町にある資源や関係者をつなぎ合わせて、町にあった支援体制を構築する町を中心とする部署となる。また、地域の支援力の底上げを担う。

問 今もしつかりとした支援体制があると思うが、今後底上げしたいという課題はどのようなものか。

答 相談回数が限られたり、常勤の心理士がいらないなどタイムリーな相談ができていないのが課題と考えている。今までは保健センター、支援事業所、学校などでそれぞれ別の心理士が相談を受けていたが、今後は支援センターの専任の心理士が一元的に相談を受けることによって成長に適した切れ目のない相談体制ができると考えている。

乳幼児等通園支援事業
の設備及び運営に関する
基準の条例制定

問 通園支援事業には常設の一般型と受け入れに余裕がある時に開設する余裕活用型がある。吉田町では余裕活用型から始めると考えるが、現在吉田町では一時預かりも実施している。これらの違いは。

答 一時預かりは預ける側が就労されている方や病気の方などの利用に限られているが、通園支援事業では預ける側の理由は問わず、6カ月から3歳未満の子どもを月の一定時間預けることができる。

乳幼児等通園支援事業

保育所等に通っていない乳幼児を対象に、一定時間の通園機会を提供することで、子どもの健やかな発達を促すとともに、在宅で子育てを行う家庭の孤立を防ぎ、育児不安や負担の軽減を図ることを目的とした事業。

令和7年度吉田町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出にそれぞれ2億2,015万円を追加し、総額168億7,385万円とする

【主な補正】

| | | | |
|----|-------|--------------|-------------------------|
| 歳入 | 国庫支出金 | 4,193 万円 | (障害者自立支援給付費負担金など) |
| | 繰入金 | 1 億 5,783 万円 | (財政調整基金繰入金) |
| 歳出 | 民生費 | 1 億 7,099 万円 | (心身障害者自立支援事業費、保育園管理費など) |
| | 消防費 | 384 万円 | (情報伝達充実・強化事業費など) |

心身障害者自立支援事業費

問 この事業費の補正が、この時期となった特別な理由があったのか。

答 上半期の利用者が増えており、下半期の利用者も増える予想し、見込んでいた事業費では3月までの事業が厳しいと判断したため、12月の補正となった。

問 自立支援を受けることをためらう方に、町はどのようなアクションをするのか。

答 大人になってからそのような支援を受ける方の把握はできていない。相談に来てほしい。

情報伝達充実・強化事業費

問 どのようなシステム改修となるのか。

答 8年度気象庁の新しい気象情報に対応するものである。現在、名称が統一されていないおよびどの程度のレベルなのかわかりづらいものを、大きく4つ(大雨浸水・河川氾濫・土砂災害・高潮)に分類し、それぞれ5段階の警戒レベル発表へとわかりやすいものとする。

問 吉田町防災メールの外国人の登録者数は。まだ登録していない町民への今後の周知は。

答 現在、約1800人の登録中、外国人登録者は一定数いる。町の公式ライン登録者数11000人も含め、さらに多くの町民への周知を継続的に行う。



令和7年度吉田町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ3億2,816万円を追加し、総額166億5,370万円とする。

| | | | |
|--------|--------|-----------|---------------------|
| 【主な歳入】 | 県支出金 | 1億7,632万円 | (災害救助費、農地利用効率化等) |
| | 国庫支出金 | 4,557万円 | (災害等廃棄物処理、公共土木施設災害) |
| | 繰入金 | 7,997万円 | (財政調整基金) |
| 【主な歳出】 | 農林水産業費 | 1億5,836万円 | (農地利用効率化等支援交付金) |
| | 衛生費 | 7,242万円 | (災害廃棄物応急対策業務委託料) |
| | 民生費 | 5,105万円 | (災害救助費) |

条例の制定1件、補正予算1件の2議案を審議し、可決した。

第3回臨時会 令和7年10月22日

台風15号による被災者に対する町民税等の減免の特例に関する条例の制定について

被害の町民税などの減免申請に当たっては、プッシュ型で行うのか。

一部半壊も含めて、申請が出ている方々全てに制度内容を含めたガイドブックを通知する。

ガイドブックを送って、自分で判断しなさいということか。

該当する制度に印をつけて案内を送付する。併せて災害見舞金などの対象者には申請書も一緒に同封する。

この申請はいつまでに出すのか。
提出期限は特に定め

後期高齢者医療保険料の減免が町の条例には入っていないが、できるのか。

この保険は静岡県を取り扱いであるが、対象の方にも同じような資料を送付する予定である。

4条に減免の割合があるが申請者自身には判断が難しいのではないのか。

罹災証明書の被害認定調査の損害割合、いわゆる半壊などはパーセントでわかるので損害の程度を分かるようにしたい。



7年度分が対象となっているが、8年度はどうなるのか。

1月1日現在で固定資産の対象が決まってくるので、状況に応じて対応していく。

減免割合は国の規定であるが、もう少し手厚くという議論はあったのか。

国の基準に基づくのが原則。公平・公正に、周辺市町も含めて、不公平にならないように総合的にバランスを考えて補助支援体制を整えた。

7年度吉田町一般会計補正予算(第5号)について

災害見舞金は全壊が10万円で3件、半壊以上が5万円で21件、被害状況が分かっている中で予算が多い理由は。

再調査やまだ確定していないものもあること

とからその分を想定して予算付けした。

農地利用効率化等支援交付金の農業機械等修繕には何が含まれるのか。

農業用施設・機械に該当するものが対象で、例えば農業用ハウス・倉庫、農機具格納庫、資材保管庫などである。備品、消耗品は対象外である。

商工業に対しては何の支援もないのか。

農地利用効率化の支援金は国の制度に呼応して構築したが、商工業の制度は構築されていない。



静岡県では屋根の台風改修補助制度ができた。この制度を使うことはできないか。

吉田町は要綱を持っていない。今後検討していきたい。

人的被害者に対する補償などはあるか。
亡くなった方は藤枝市在住のため、藤枝市から弔慰金を出す予定となっている。

question

問

台風15号被災対応と今後の課題は

answer

答

この経験を確実に継承し対応力を備える

台風15号は時間雨量110ミリを超す大雨や、風速75メートルもの史上最大クラスの竜巻を発生させ多大な人的・物的被害が発生した。これまでに経験したことのない災害であり、対応状況や今後の課題について質問した。

問 町の体制づくりや被害状況の把握などにおいて苦労したこと、今後の課題は何か。

答 住宅の緊急修理、罹災証明書の交付と被災認定業務、災害廃棄物の収集、被災者への支援制度の情報発信など、経験のない対応が多岐にわたり、被害状況把握や通常業務との両立を含めた体制づくりに大変苦労した。

近隣市町からの派遣、専門家による説明や相談会、NPOやボランティア団体の協力

問 災害ボランティアセンターと対策本部の役割分担や情報共有などの問題点、課題は何か。

答 センターで集約した情報は速やかに対策本部で共有し、今回の対応に関する課題などの検証を行い、迅速・的確に対応していく。

問 今回の災害対策からの教訓、課題は何か。

問 大雨や台風の予知は一定の備えができるが、竜巻被害は極めて局所的で発生を予測することは難しく、情報入手が重要である。今後、国・県の検証結果を踏まえ、町の防災計画に反映させていくことを検討する。

答 大雨や台風の予知は一定の備えができるが、竜巻被害は極めて局所的で発生を予測することは難しく、情報入手が重要である。今後、国・県の検証結果を踏まえ、町の防災計画に反映させていくことを検討する。



大幡地区

question

問 難聴者への補聴器購入助成を

answer

答 具体的に検討している

問 補聴器の購入補助事業を実施する考えはないか。

答 補聴器の装着は、生活上の不便を軽減し、社会参加の促進や認知機能低下の予防に一定の効果があることから、高齢者を対象とした助成制度を具体的に検討している。

問 難聴についての相談を広報し、認知症や介護予防につなげる考えは。

答 わかりやすいパンフレットなどを作成し広報することを検討している。医療機関などと連携し、相談体制を整え、普及・啓発を行っていく。

問 聴力検査促進のため、特定検診問診票に質問項目を追加できないか。

答 特定検診の基本的考え方、糖尿病などの生活習慣、とりわけ、メタボリックシンドロームの該当者・予備

聴力検査促進のため、特定検診問診票に質問項目を追加できないか。



議員
いわた 巖
おおいし 大



question

問

初めての夜間地域防災訓練の評価は

answer

答

訓練目的の地域防災力の向上に繋がった

今年の8月に初めて夜間に行われた地域防災訓練やその数日後の台風15号による竜巻被害について質問した。しかし、予定していた自主防災会の在り方やその育成方法については時間の関係で次回に行うことにした。

問 台風15号による竜巻

被害への対応で町が得た教訓は。

答 災害時には災害対策本部の迅速かつ的確な対応が重要。今回の災害で得た経験を確実に継承し、さまざまな災害対応ができるよう平時から準備していく。

答 災害ボランティアの

活動を平時において町民にどのような知らせていくかは今後の検討課題の一つである。社会福祉協議会と連携して課題について考えていきたい。

問 災害ボランティアの

ニーズ調査でご家庭を訪ねた時、ボランティア活動を知らない方が多かった。平時からその活動を知らせるチラシの配布をしてほしい。



ボランティアの皆さん（はあとふる）

問 8月の夜間の訓練は

地域防災訓練として行われた。地域防災訓練は自主防災会などが中心に共助に重きを、総合防災訓練は町などを中心人公助に重きを置くことと理解しているが、町民はどちらも同じ訓練を行っている。これをどうみているか。

答 自主防災会の訓練は

基本的には自主防災会に企画してもらっている。訓練の目的に応じた訓練を期待しているが、実践には至っていないのが現状である。

問

訓練後の自主防災会

からの報告書に津波避難タワーの階段や上部が暗いとの記載があった。どのように対応するのか。

答 自主防災会と実地検

分し対策を検討する。

問 6年に比べ7年の町

民の参加数は若干増えた。（下表）しかし、学校の建物をよく知り、避難所での活躍が期待される中学生の参加が減った。どう考える。

答 学校から強制ではな

いが、地域の一員として参加するように伝えている。学校および教育委員会としても訓練に参加していただくよう周知していく。

令和7年地域防災訓練の町民参加者数（出典：防災課データ）

| 区分 | 一般 | 幼児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 要支援 | 外国人 | 合計 |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 住吉 | 2,412 | 83 | 178 | 120 | 61 | 28 | 10 | 2,892 |
| 川尻 | 1,927 | 67 | 142 | 74 | 59 | 54 | 28 | 2,351 |
| 片岡 | 1,435 | 70 | 125 | 80 | 43 | 7 | 0 | 1,760 |
| 北区 | 1,550 | 143 | 171 | 155 | 45 | 7 | 2 | 2,073 |
| 合計 | 7,324 | 363 | 616 | 429 | 208 | 96 | 40 | 9,076 |
| 令和6年 | 7,092 | 370 | 590 | 506 | 236 | 79 | 60 | 8,933 |
| 差 | 232 | -7 | 26 | -77 | -28 | 17 | -20 | 143 |



ひらの 野 積 議員

町政を問う

question

問

土砂災害警戒区域の自然災害対策は

answer

答

行政の知らせる努力と住民の知る努力

台風15号の影響で発生した国内最大級の竜巻は、町内にも大きな被害をもたらした。近年のゲリラ豪雨・台風・地震などの自然災害は、土砂災害警戒区域の周辺住民の不安を大いに高めている。そこで現状と対策について質問した。

問 ゲリラ豪雨による河

川の氾濫や浸水・土砂災害など、自然災害においてハード面に取り組む被害想定は。

答 国と県が作成した浸水想定区域図を基に、町内の12カ所が土砂災害警戒区域として、さらにその中の11カ所が土砂災害特別警戒区域として県から指定されている。町ではハザードマップを作成し、区域住民に向けて周知している。

問 土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒

区域においての自然災害による被害想定は。

答 土砂災害警戒区域は土砂災害防止法に基づき、傾斜度が30度以上の土地について、県が一律に指定したものであり、被害の規模や頻度については考慮していない。

問 土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒

区域において、自然災害に対する対策は。

答 ハード対策として、県が既に重力式擁壁の設置などの工事を実施しており、定期的な点検も毎年実施している。また「急傾斜地法」では、土地の所有者が急傾斜地の崩壊が生じないように努めなければならないと定められていることから、ご自身の所有地はご自身で崩壊対策を講じていただくことも、被害を防止



するために必要となっている。町では、地域防災計画に定めた土砂災害情報の伝達や避難訓練、ハザードマップの公表・周知など、区域の住民が災害発生のおそれが生じた際に、ご自身を守るために一刻も早く避難していただくことを目指している。



問 県の「森林づくり県民税」での「森林の力

再生事業」や、「森林環境譲与税」を利用した対策はできないか。

答 対象が人工林や保安林とされているので、現在の状況では難しい。

問 土砂災害対策の補助

制度は検討できないか。

答 基本的に土地所有者に対策していただくことであるが、他市町において補助制度があるか、またその背景なども含め研究していく。

問 国県への働きかけは。

答 当町だけの問題ではなく、全国的な問題なので、制度的なものを作るということであれば、積極的に要望を上げていく。



議員 石 裕之 大 石 裕之

question

問

自治会や各団体への加入減少対策は

answer

答

活動支援や補助金交付で対応する

社会の変化と地域コミュニティにおいて、自治会への加入者や加入率の減少、子ども会やさわやかクラブ、各種団体への会員者数の減少や役員のなり手不足による活動休止など、現状における問題点と対策について質問した。

問 町民の自治会への加入率の現状および外国人の加入率は。

答 7年4月1日時点
で、住吉区が62・3%、
川尻区が56・4%、片
岡区が74・9%、北区
が59・1%、町全体で
は62・5%となっている。
外国人も地域コ
ミュニティの一員と考
え、外国人の加入率は
把握していない。

問 あるが確認しているか。

答 子ども会について
は、子どもの数の減少
に伴い統廃合が進み、
数は減少傾向にある。
さわやかクラブについ
ては23団体中4団体が
活動を休止している。
理由は、会員数の減少
や役員のなり手不足で
ある。

問 地域コミュニティの
会員数の減少などの対
策は。

答 団体活動の充実のた
め、補助金の交付や
「支え合い応援ブック」
を作成し、活動内容や
募集のお知らせなどを
掲載し、入会への取り
組みを行っている。

問 自治会の活性化につ
いて、自治会未加入者
への情報発信は。

答 情報発信技術の進展
に伴い情報発信手段が
多様化している。一人
一人が自分に合った情
報収集ができるよう、
同報無線、広報よしだ、
町ホームページ、町公
式ラインなどを通じ情
報発信を行っている。

問 補助金は自治会が規
律をもって使えるお金
で、ここまで使えると
町から発信できないか。

答 自治会の主導権はあ
くまで自治会の皆さん
にある。自治会への補
助金をどのように使う
かは皆さんにお任せし
ている。ただ、こうい
うことに使うというこ
とは提出いただしてい
るので、ルールに基づ
いてやっていただきた
いと思っている。

問 地域コミュニティの
現状と対策について、
子ども会やさわやかク
ラブなどの解散情報が

あるが確認しているか。



問 「自強わくわく教室」
や「ミカレネットワー
ク」などのボランティア
ア団体の関係者は高齢
化しているが対策は。

答 事業の継続には、会
員募集や広報活動が大

問 自治会への補助金は
加入者人数で行うのが
当たり前と思うが。

答 補助金額を算定する



やま うち ひとし 議員
山 内 均

町政を問う

question

問

部活動地域展開でのクラブ設立条件は

answer

答

8年2月作成のマニュアルに準ずる

5年9月、6年9月に中学校部活動の地域展開について一般質問した。その後だいたい時間も経過し、現在の小学6年生が卒業し中学校へ入学するまで3カ月半くらいの時間しかないため、子どもたちの事を考え、現状を質問した。

問 吉田中学校は、現在

14運動部と3文化部の合わせて17の部活動があると聞いている。

8年度から休日の地域展開が可能な部活動はいくつあるのか。

答 科学部が本年9月をもって廃部となったので、16の部活動が行われる予定だが、現時点では8年度中に地域展開可能な部活動は確定していない。

問 地域展開における指導者の確保はそれぞれ

めどが付いたのか。

答 吉田中学校と3小学

校の教員を対象に、指導の希望者や推薦者を募ると共に文化協会、体育協会、スポーツ少年団といった各種団体にも働きかけを行い、指導の推薦者を募った。

結果、16の部活動のうち、12の運動部と1つの文化部において、指導者の候補が挙がっている。今後、中学校と密に連携を取り指導者の確保に努めていく。

問 地域展開における経

費負担についてはどの

ように決定したのか。

答 基本的には、クラブ加入者から会費を徴収する「受益者負担」という形の運営を考えている。

ただし、徴収金額など、詳細については調整中であり、今後、国や県の動向などを踏まえ、経費負担の在り方について方針を固めていく。



問 現在、平日の指導は

教師が実施していると聞いた。指導にやる気を持った教師が休日も指導者として活動することは可能か。

答 希望する教員については、「兼職兼業」の申請により教育委員会の許可を得た上で「よし活クラブ」の指導者として可能となる。

問 吹奏楽部、美術部の地域展開についてはどのようになっているのか。

答 基本的には、地域クラブとして地域展開することを目指す。

問 地域展開することにおける条件はどのよう

になっているのか。

答 基本的事項を内容とした運営マニュアルを作成する。

問 運営マニュアルはい

つまでにできるのか。8年2月に完成する予定。



さかえ 議員
ぎ 八



question

問

花いっぱい活動で目指す町づくりとは

answer

答

快適で安心して暮らせる住環境が整う町

多様な人々が快適に暮らせるまちづくりで花のまち推進事業がある。長きにわたる貢献活動により地域住民に潤いと安らぎを与えてきた団体は、高齢化による会員減少が目立っている。若年層や転入者の参加、町の仕掛けづくりを質問した。

持続可能な緑と花いっぱい地域づくりについて

問 高齢化による会員減少や担い手不足などの課題へどのような対策をしているか。

答 6年度は団体活動の継続、新規団体の環境を整えるため、補助金交付要綱を改正。花壇面積要件撤廃・団体人数の緩和をした。児童生徒など若い世代や事業所が参加する機会を創出、将来的な担い手の育成、地域全体で支える体制づくりなど多くの参加につなげる。

問 小学校花壇の花苗を一部寄付している団体が今年度解散予定である。子どもの心を和らげ、学習意欲や創造性につながる花のある環境づくりは保たれるか。

答 学校花壇は、環境教育・体験を通じた学習として大変有意義なものである。環境美化のためにも続けていくもので、花苗の提供がなくても続けられるような手段を学校と相談する。



吉田町花の会
シンボル花壇の花植え

問 町の玄関口となる役場花壇は、住民や来訪者の心に潤いを与え町のイメージアップにつながるが維持管理は。

答 吉田特別支援学校の生徒が教育活動として年数回以上美化活動や花植えを行っている。今後も職員とボランティアで維持していく。

剪定枝の資源循環方法について

問 剪定枝の処理コスト削減や新たな資源循環方法への取り組みは。

答 平成28年度から6年度まで草木類堆肥化事業で合計約1045トンのリサイクルを実現した。今年度から、燃料チップ化を行うリサイクル事業を開始した。

問 自然分解型堆肥設備バイオネストを試験的モデル事業として導入する考えは。

答 バイオネストの設置予定はないが、設置への課題やリサイクルの推進、処理コスト削減のため研究をする。

バイオネストとは・・・木の枝を集めた大きな鳥の巣のような枠に、落葉・剪定枝を入れ微生物の力で分解・堆肥化する自然循環設備。ミミズなどの分解者が落葉を分解しカブトムシなどの生態系が豊かになる。
バイオ (bio) = 生命
ネスト (nest) = 巣



バイオネスト



楠元由美子 議員

第23回 議会報告会を開催

開催日

| | | | |
|--------|------|--------|-------|
| 10月27日 | 住吉会館 | 10月28日 | 川尻会館 |
| 10月30日 | 片岡会館 | 10月31日 | 北区白彊館 |

意見交換テーマ

- (1) 夜間の防災訓練について (2) “ぎゅっと”カーよしだについて

第23回議会報告会を上記の日程で開催し、81人の方々に参加していただきました。ありがとうございました。

報告会の構成は議会からの報告後、グループに分かれて質問やテーマについて意見交換を行いました。

議会からは9月定例会で行われた6年度一般会計決算の主な結果とそれに関する質疑内容、続いて常任委員会の活動報告として「避難所運営マニュアル作成について」「観光振興策について」、最後に、上記意見交換のテーマについて報告しました。

その後、各グループで報告に関する質問を受け、次に意見交換を行い、会を進めました。議会は皆さんからの貴重なご意見をいただき、委員会での調査や質疑、一般質問に生かしていきます。

アンケート集計結果

1 地区別参加人数 (人)

| 地区 | 住吉 | 川尻 | 片岡 | 北区 | 町外 | 不明 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 人数 | 8 | 39 | 11 | 23 | 0 | 0 | 81 |

2 年齢別参加人数 (人)

| 年齢 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 人数 | 2 | 3 | 0 | 11 | 32 | 33 | 81 |

3 今回の議会報告会はいかがでしたか (人)

| 項目 | 大変良かった | 良かった | 良くなかった | どちらとも言えない | 合計 |
|----|--------|------|--------|-----------|----|
| 人数 | 7 | 58 | 5 | 11 | 81 |

4 今回の意見交換テーマについてはいかがでしたか (人)

| 項目 | よく理解できた | 理解できた | 理解できなかった | どちらとも言えない | 合計 |
|----|---------|-------|----------|-----------|----|
| 人数 | 11 | 56 | 2 | 12 | 81 |

皆さんから出された
質問・意見の一部を
紹介します

報告について

【決算】

問 6年度決算でなぜ余

る財源が発生するのか。
その財源の使途は。

答 入札差金や予定した
事業が事情により行わ
れなかったことなどに
よる。

【避難所運営マニュアル の作成】

問 避難所が開設され
たら、いつまでいられる
のか。

答 だいたい1カ月くら
いで、その後行き先が
決まってくるなどの状
況の変化がある。

意見交換について

【夜間の防災訓練】

・開催時間が変わったた
け。津波避難タワーへ
行った。
・看板に電気がなかった。
避難タワー暗かった。
・夜間訓練は慣れが大事。
暑さ・風・寒さなどの



議会報告会風景（住吉）

対策が必要。
・避難所への看板などが
必要。

・災害を受けた経験がな
いので意識が薄い。意
識を高めることが必要。
・地震時のホテルの防火
シャッターはすべてが
閉鎖し、景色が変わり
方向が分からなくなる。
いろいろな状況を想定
した訓練が必要と考え
る。

・夜間避難訓練が重要で
あると考えるが、地区
には地区の想定される
ものがある。地区ごと
に想定される訓練をす
るべきではないか。
・夜間に災害が起きた場
合に備えて、蛍光ベス
トの自治会への配布を
希望する。

・第一避難場所を知らな
い組長や町民がいた。
常会を行う組が減り、
回覧やラインでの連絡
だけでは周知が難しい。
組のコミュニケーション課
題を感じた。

・「ぎゅっとカーよしだ」
・「ぎゅっと」カーは免
許証を返納した人達の
ためと思われる。
子どもたちの利用（塾
などへの送り迎え）を
実施したら、子育て世

問 停留所の増加を望む
が。

答 要望を出せば、町は
警察などとの検討を始
める。

問 中央小学校付近にバ
ス停をつくってくれと
要望したが、いかがか。

答 中央小学校の入り口
近くに町有地がある。
現在協議中であるため
許可がおりれば停留所
にする予定である。

・自家用車に乗っている
からまだ実感がない。
・「ぎゅっと」カーは免
許証を返納した人達の
ためと思われる。
子どもたちの利用（塾
などへの送り迎え）を
実施したら、子育て世



議会報告会風景（川尻）

代には大変喜ばれると
思う。

・予約方法が分かれば、
使い勝手がある。
・土日の夜は遅くまで
やってほしい。
・ラインでの登録もあれ
ば。

・知らなかった。必要と
している人に知らせて
ほしい。

その他について

【台風15号の被害】

問 災害時の廃材の運搬
車の設置を町でお願い
したい。

答 台風15号の時は町民
からの要請によりボラ
ンティアが廃材などを
軽トラックにより運搬
処理した。

問 竜巻の被害の復旧の
ための予算は。

答 予備費と補正予算な
ど約3億円で対応する。

問 台風15号で100mm/hの雨
が1時間半くらい降つ
た時、西の宮川があふ
れそうになった。この
ような雨が数時間降れ
ばあふれてしまう。昔
は田んぼだったので、
バッファ（緩衝）に
なったと思うが、今は
住宅地で被害は大きく
なる。対策はないもの
か。

答 湯日川流域治水対策計
画（県）で、近年に床上浸
水被害が発生した河川を
対象に概ね10年間でハー
ド対策を計画している。

問 道路の白線が消えて
いるが、どうするのか。

【道路管理】

答 道路のセンターライ
ンなどの白線は町や県
が、横断歩道は警察の
管轄になるが、該当す
る場所を土木要望とし
て町に出してほしい。

・通学路にもなっている
交差点に水が溜まる。
・ダンプなどが通る道は、
デコボコに凹んでいて、
水が溜まっている。

【草刈り】

問 堤防の草刈りを予算
がないと言ってあまり
してくれない。予算は
本当になのか。

答 組長を通して草刈り
依頼をし、組長から自
治会へ、自治会から町
へ依頼される。皆さん
から声を出すのは大
事。町公式ラインの町
民レポートで報告する
と対応してくれる。

・どこ見ても草が生えて
いる。予算があつてお
金があれば、造園業者
さんに草刈りを頼んで
はどうか。防災にもつ
ながるので、やってもら
いたい。

・昨年に比べ、草の伸び
がすごい。草刈りが追
いつかないのも事実。
・湯日川の法面の整備を
真剣に取り組んでもら

いたい。

【その他】

・都市計画マスタープランにおいて片岡地区の開発は進んでいない。

町は考えてほしい。

・大雨の時、支線川からの水が湯日川に流れ浸水の課題がある。

・小山城周辺を気持ち良く利用できるようにしてほしい。

・西の宮公園や湯日川親水公園など、草ぼうぼうで子どもが遊べない、遊具も少ない。

・多目的公園や湯日川親水公園などに人がいない。作ってくれたなら人が集える場にしてほしい。

・保安林の松林にシラサギが巣を作るので、糞で真っ白になる。綺麗にしてほしい。

・夏が暑くて外で遊べないので、子どもが遊べる屋内施設がほしい。

・7月30日のカムチャツカ半島からの津波警報で避難したが、解除さ

れ帰宅後、晩ご飯を食べた。解除されないときの対応について考えるべき。

いないのが実情。引き続き要望していく。

県・担当課からの回答

【草刈り】

問 図書館の湯日川側の雑草がひどい。何とかならないか。

答 (担当課の回答) 自治会から土木要望として町へ出し、県土木に挙げているが、予算などを理由に実施されて



議会報告会風景 (片岡)

（県の回答）

河川敷地内の除草は、維持管理予算が限られていることから緊急性や必要性を判断し、優先順位を付けて対応せざるを得ない状況です。浚渫や護岸補修、伐木・伐竹など治水上問題のある箇所を優先し、特に堤外地側の除草は、親水公園や消防用通路など、安全確保が必要な箇所以外は行っておりません。河川敷地内の除草については、他の地域の皆様からも多くの御要望を受けておりますが、全ての御要望に対応できていないのが現状です。

県では、リバーフレンドシップ制度を活用し、地域の皆様のご理解をいただいた箇所については、河川美化活動にご協力をいただいております。締結団体へは美化活動に対して、県が草刈機や燃料などの物品を支援しております。令和7年11月末現在、島田土木事務所管内では254団体と同意書を締結しております。

【決算】

問 町民税の収納率を上げるために給料からの引き落としの人を増やすとあるが若年者が多いのか。効果がある策か。

答 滞納者に関して、特徴的な年齢層があるとは認識していない。給料引き落とし（特別徴収）が増えれば、会社から確実に町民税として支払われるので、町の税収アップにつながることは明白である。今後とも特別徴収を増やすべく努力する。

問 シーガーデンシティ構想のインター入り口ターミナルについて、下りバス停側に小規模の売店、トイレなど、何か施設を入れる予定があるのか。

答 上り、下りそれぞれに待合所、トイレを設置する予定である。それに加え、賑わいの空間としての活用も検討していく。

【夜間の防災訓練】

問 自力で歩けない人の移動をどうするか。家にいた方が安心ではないか。

答 要配慮者の調査を民生委員が行い、避難計画を作成する活動をしている。また、災害に応じた「わたしの避難計画」を作成していただきたい。

問 避難タワーは防潮堤ができれば必要ないのか。

答 避難タワーは必要である。防潮堤は津波を防ぐことを目的としているが、避難タワーへ避難することでより安全の確保につながる。

問 夜だと炊き出しができないが、どうしたらよいのか。

答 夜間での炊き出しのノウハウを夜間訓練で養っていく。町と自主防災会とが連携し、実践的な訓練内容を策定していく。

【その他】

問 防犯カメラ、町で設置している所はあるか。

答 町で設置と自治会で設置がある。

(役場管理) 役場庁舎、南駐輪場、総合体育館、駐輪場、中央公民館、駐輪場、片岡会館、駐輪場、吉田町役場玄関、水防センター、展望台、小山城、しらすのまどぐち、バス待合所、兼観光案内所に各1台、オアシス館3台、中央児童館2台、吉田町図書館に8台。
(自治会管理) 川尻会館前、はあとふる前、オアシス館北西に各1台。



議会報告会風景 (北区)

産業建設常任委員会報告

調査事項

観光振興策について

10月30日

町内の観光に関わる施設を視察し、事業や取り組みについて説明を受け質疑を行った。

吉田町まちづくり公社

- 主たる活動の目的
- ・吉田町の魅力づくり
- ・吉田町の魅力発信
- 主な取り組み
- ・特産品（よしまちべっぴん）の紹介
- ・企業サポセンター（よしサポ）の運営
- ・北オアシスパークの多様な利用の誘導

吉田町商工会

- 主な取り組み
- ・小山城楽市
- ・吉田野営
- ・月2回発行のPR紙
- ・観光部の復活
- ・未来創造委員会（吉田公園南側用地の可能性）

11月12日

各委員から町内視察調査の感想や意見の報告を行った。

12月9日

町内施設調査のまとめを行った。

現状について

- 吉田町まちづくり公社
- ・限られた予算・マンパワーの中では思い切った取り組みが期待できない。
- ・施設利用者が3万人であることは親しまれている施設である。
- ・HPに力を入れている。
- 吉田町商工会
- ・楽市は町内外の人が多く出店している。
- ・楽市は固定客も増え、効果が上がっている。
- ・吉田野営は来場者1万人へ成長してきた。

課題について

○吉田町まちづくり公社

社

・吉田インターから公社へ立ち寄り、情報を得てから各地を訪れる構想ができていない。

- ・北オアシスパークは町外の人が利用しやすい。公社主催のイベントはどうか。
- ・よしまちべっぴんの公募の3分の1は町外である。積極的な魅力発信を期待する。
- ・景観形成として公社の役割としてはどうか。
- ・司令塔となる必要があると考える。



北オアシスパーク

○吉田町商工会
・PFI方式について

て、町と商工会との考え方に相違がある。

・楽市と小山城周辺活性化の計画が必要。

今後の方向性について

- 吉田町まちづくり公社
- ・公社と商工会の協力は不可欠ではないか。
- ・PR活動で多くの人が訪れれば観光と同じ効果が得られる。
- ・小山城周辺の魅力発信を公社が担うのか。
- ・町は、町づくりの名にふさわしい施策を指示すべきではないか。
- ・HPに観光マップや観光モデルコースなどアップし情報発信を、コースも都度変更してはどうか。

○吉田町商工会

・吉田野営は面白いイベントとして進化され、今後も楽しみである。

・観光部の復活は今後に期待する。

・未来創造委員会の組織発展を期待する。

・イベントの提案をしてはどうか。

・PFI方式に関する町との調整が必要。

・野営はPRのチャンス、町を挙げての歓迎キャンペーンを企画してはどうか。

委員長 大石 巖

「よしまちべっぴん」とは町のほこれる特産品

HP上でサイトを運営し、PRを実施
種類—ウナギ加工品・料理、しらす加工品、和菓子、精肉など193品目

「よしサポ」とは

産業振興を支援する企業サポートセンター
相談日を設け、専門相談員の紹介、商工会や金融機関との連携で幅広く対応

総務文教常任委員会報告

調査事項

避難所運営マニュアルの作成について

10月2日
今後の調査方法について協議した。

12月11日

先に提出してある質問事項について、防災課長からの説明を受け、説明に対する質疑応答を行った。

【質問項目】

(1) 指定避難所および福祉避難所について

(2) 検討ワーキンググループについて

問 グループで何を決定するのか。

答 平時からの準備、レイアウト、立ち上げ方、運営方法、留意点などを想定する。

問 避難所運営マニュアル作成で優先する避難所はあるか。

答 多くの避難者が想定される3小学校および片岡会館を優先して作成する。

(3) 避難所運営マニュアル作成後の活動について

問 平時における避難

所運営マニュアルに関する教育・訓練の対象は。その頻度はそれぞれどれくらいを想定しているか。

答 各自主防災組織が対象となる。頻度は、自主防災組織のメンバーが変わる際には必ず行い、定期的に実施することが重要と考える。

(4) 避難所運営に必要な町の備蓄品について

(5) 避難所運営の主な役割分担について

問 避難所運営は継続的・継続的に一貫したものでないと混乱が起きかねない。一貫性を保持できるものか。組織形成はどうするか。

答 マニュアルは誰が関わっても円滑に避難所運営を行うために必要事項をまとめるものである。

委員長 八木 栄

議会 DX 推進特別委員会報告

調査事項

タブレット等を使用した議会活動について 森町視察報告

6年6月に発足してからこれまで12回の委員会を開催し、議会のDXについて議論した。10月14日森町へ視察を行った。

【質問項目】

(1) 導入の背景・目的

(2) 導入プロセス・体制

問 導入に係る費用（初期費用）と年間維持費は。

答 4年の執行額で、モバイルルーター使用料を除き、349万7252円。地方創生臨時交付金を活用した。

6年度の運用に係る費用（年間維持費）は81万1862円である。

(3) 議会専用のネット環境の有無

(4) 運用方法

(5) 効果や成果

問 タブレット活用のメリット、デメリットは。

答 情報共有が早い。見比べるときに両方

のデータが一緒に見れない。

問 ペーパーレス化による経費節減について。

答 年間10万円を超えていたコピー代の削減など、印刷費の削減と作業時間の短縮が図られた。

(6) 課題・トラブル・対処

(7) 今後の展望

委員長 蒔田昌代



第1回定例会（3月）のご案内

令和8年第1回吉田町議会定例会は3月2日（月）に開会予定です。
傍聴はどなたでもできます。当日役場4階議会事務局にて受付を済まし、
5階傍聴席へご入場ください。お待ちしております。

問い合わせ先

議会事務局

33-2141



傍聴の仕方は
こちらへ

まちの話題



10月4・5日 県営吉田公園
〔2025 第15回吉田クラフトフェア〕



10月12日 川尻防潮堤・多目的広場
〔川尻区ウォークラリー2025〕



11月18日 中央小学校
〔キットパスアート〕



11月23日 川尻海岸清掃
自治会・壮年会・育成会・子ども会
（株）マルハニチロオーシャン共同開催



11月30日 自彊わくわく教室
〔自彊館をクリスマスで飾っちゃおう〕



12月17日 住吉小学校
音楽発表会

議会広報特別委員会

委員長 楠元由美子

副委員長 蒔田 昌代

委員 大石 裕之

大石 巖

平野 積

八木 栄

山内 均

※本紙に記載している数値につきましては、一部千円以下を切り捨てして万円単位で表記しています。